

『学校評価アンケートの結果について』

今回は、令和2年度後期の学校教育の振り返りの結果についてお知らせします。

評価項目	【4点満点での評価】	保護者 (56人)	運営委員 (12人)	教職員 (12人)	全体 (80人)
1	子どもたちは、自分の考えや気持ちをきちんと話すことができる	3.1↑	3.4	2.8	3.1
2	子どもたちは、人の話をきちんと聞くことができる	2.9	3.5↑	2.9	3.1
3	子どもたちは、宿題や家庭学習をがんばっている	3.2	3.7↑	3.1↓	3.3
4	学校は、子どもたちが進んで家庭学習に取り組むための指導や支援をしている	3.3↑	3.7↓	3.5↑	3.5↑
5	子どもたちは、家でよく本を読んでいる	2.4	2.8↑	2.1↓	2.4
6	学校は、子どもたちの読書環境づくりに努めている	3.2↓	3.6	3.3	3.4
7	学校は、子どもたち一人ひとりの実態に応じた「わかる授業」づくりをしている	3.3↓	3.5↓	3.6	3.5↓
8	子どもたちは、友だちと仲良くしている	3.6↑	3.5↑	3.4	3.5↑
9	子どもたちは、進んで気持ちのよいあいさつができる	3.3↑	3.4	3.3↓	3.3↑
10	子どもたちは、言葉づかいに気をつけている	2.9↑	3.1↑	2.8↓	2.9
11	学校は、優しい気持ちを伝え合う指導をしている	3.4	3.4	3.3↓	3.4↓
12	子どもたちは、苦手なことにも粘り強く取り組むことができる	2.9	3.3↑	2.8↓	3.0↑
13	学校は、体力づくりの取組を行い、子どもたちの運動習慣づくりに努めている	3.4↓	3.5↓	3.5	3.5↓
14	子どもたちは、放課後や休日に元気よく遊んだり運動したりしている	3.2↓	3.6↓	3.5	3.4↓
15	子どもたちは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣ができています	3.2↓	3.2↓	3.2↑	3.2↓
16	学校は、学校生活の様々な場面で子どもたちの生活習慣を見直し、基本的な生活習慣の確立に努めている	3.2↓	3.3↓	3.3	3.3↓
17	学校は、子どもたちに二島地域のよさを学ばせている	3.6	3.9	3.8↑	3.8↑
18	学校は、二島中学校や二島幼稚園との交流活動に努めている	3.3↓	3.6↓	2.8↓	3.2↓
19	学校は、表現する力の育成に向けた授業づくりをしている	3.5	3.6↑	3.1↓	3.4
20	学校では、子どもたちが生き生きと勉強したり活動したりしている様子が見られる	3.6	3.7↓	3.6↑	3.6
21	学校は子どものことについての相談に適切に応じてくれる	3.6	3.5↓	3.4↓	3.5↓
22	学校は子どものよさや気持ちをよく理解してくれる	3.5↓	3.4↑	3.5↓	3.5
23	学校は、いじめ防止に向けて積極的に取り組んでいる	3.4↓	3.3	3.4↓	3.4
24	学校はKYTなどの安全教育を通し、子どもたちが「自分の命は自分で守る」意識を育てる取組をしている。	3.4↓	3.4	3.4↓	3.4↓
25	学校は安心・安全な学校づくりのための環境整備や実地的な避難訓練の実施に努めている。	3.5↓	3.7↑	3.5↓	3.6
26	学校はホームページや学校だより・学級通信等で積極的に情報発信をしている	3.7↓	4.0↑	4.0↑	3.9↑

※前年度末と比較して数値が上がったものに↑、下がったものに↓を付けています。 ※網掛けは、3.4点=85%以上です。

設問1～7について…**知** 「かしこく」 ～自ら学び、進んで考え行動する子

- 少人数を生かし、個々の学びを見取り、力を伸ばす教育を継続しています。また、一人ひとりにいろいろな学びの場があることも本校の特色です。それを生かした教育を今後も継続していきたいと思います。
- 小規模校ゆえの課題でもあるコミュニケーション能力の育成については、次年度も引き続き重点的に育てる必要があると思えます。学習形態の工夫に加え、より幅広い人との関わりを通して身につく力もあると考えます。「話す」「聞く」の基礎的な力をしっかりと育てながら、それらを「活用する力」について実践的に育てていきたいと思えます。
- 本校の教員一人ひとりがそれぞれのテーマに基づいた研究授業を実施し、その授業を通して全ての教職員がよりよい授業のあり方を考える研修を積んできました。ここで大切になってきたのは、子どもが何を学んだかを実感できるふりかえりの場の大切さと、個々の子どもを大事に見取り、価値付け、次のステップへとつなげるための「よりよい評価のあり方」です。このことも次年度の大事な研究テーマにしていきたいと思えます。
- 新型コロナウイルス感染対策として、これまで当たり前に行ってきた体験活動の多くは中止もしくは縮小しながらの今年度の学習でしたが、教職員みんなで知恵を出し合い、子どもたちに確かな学びを提供できるよう工夫をしてきました。今年度の経験や反省をもとに、次年度は年度当初からさらに計画的な教育を推進していきたいと思えます。
- 家庭学習については、学年に応じて「良い学び方」を具体的に子どもたちに伝える取組が広がってきています。おうちの方々とこうした情報を共有しながら、「学校で学ぶ意味」・「家庭で(自主的に)学ぶ意味」を子どもたちにもしっかりと理解させることが大事だと考えます。
- 「読書活性化プロジェクト」も継続しています。読書通帳を活用しながら、子どもたちが読書内容を友だちに「書いて伝える」活動にも取り組んでいます。伝えることを考えながら読むことは、子どもの「読み取る力」を育てることにつながると思えます。
- 家庭読書については継続して評価が低い状況が続いています。家庭で本を読む意味を学校・家庭・子どもが共有すること、時間の確保、そして、意欲化を図るための手立てが必要であると考えます。学校運営協議会でもしっかりと協議をしていきたいと思えます。
- 個に応じた学び方、一人も取り残さない学びのためにICTを活用した授業が注目されています。次年度は山口市でも大きくクローズアップされることでしょう。まずは教職員のスキルを高めるため、本校でもしっかりと研修をしていきたいと思えます。

設問8～11について…**徳** 「やさしく」 ～礼儀正しく、思いやりのある子

- あいさつの啓発については、「あいさつマスター」の推薦に加え、あいさつの意味を指導しながら、相手の心に届くあいさつについて考えさせるようにしています。大きくはきはきとしたあいさつ、相手の名前を付けたあいさつなど、子どもたちの中でも徐々に意識が高まっているようです。次は「時と場に応じたあいさつ」を一人ひとりの子が考え、実践できるようにしていきたいと思えます。
- あわせて、言葉遣いや礼儀、挨拶など、二島小学校の中ではできることが、家庭や地域でなかなか実践できていない状況については、今後も子どもたちへの指導と共に、家庭・地域との連携が必要になってくると思えます。子どもたちの言語環境を整えるには、まずは大人たちが日々お手本を示す必要もあるでしょう。もちろん、あいさつもです。「未来ある子どもたちのよりよい育ち」のために今後もぜひ手を取り合って子どもたちを育てていきましょう。
- 同時に、学校では人権教育をベースにしながら、子どもたちの心を育て、人とのよい関わり方について様々な場を通して指導を続けたいと思えます。二島っ子たちは素直で優しく可愛い子たちばかりです。この子たちは学んだことをずっと吸収し、自分の育ちにつなげています。これは素晴らしいことです。だからこそ、この子たちのよい芽をまっすぐに育てたいと願うのです。

設問12～16について…**体** 「やさしく」

～心と体を鍛え、夢や希望の実現に向かってがんばる子

- 3学期には、なわとび大会が子どもたちの体力づくりの大きなモチベーションになっていたようです。こうした機会が子どもたちの運動習慣をつくっています。これは今後も大切にしていきたいと思います。
- また、なかなか思い切った運動ができない現状の中、子どもたちが運動ばなれをしないよう、遊びを通して子どもたちの体力づくりをする「スポ会」や「スポパラ」も継続しています。「身体を動かすことが楽しい」と思うことが、自主的に運動をする習慣づくりにつながるのでは、と思います。御家庭もそうした機会をぜひもっていただきたいと思います。「家族みんなで健康でー」も1つの機会になるでしょう。
- 今年度はプールでの水泳指導を1度もすることができませんでした。次年度は何とか工夫をして水泳指導を実現したいと考えています。
- どの学校でも同じように、新型コロナウイルスへの対応を考えながらの1年でした。そうした中で、これまで当たり前と考えていた衛生管理や環境管理を改めて見つめ直すことができました。本校では各担当や担任が様々な配慮をし、子どもたちの環境を整えることを心がけています。こうした取組がもとになり、1月には「学校環境衛生 優良校」の表彰を受けました。
- 先日、子どもたちのSNS利用についての講演会がありましたが、ここで浮き彫りになったのは、子どもたちがSNS等を通して大人たちが知らない世界とつながっている実態です。ぜひ今後とも子どもたちとインターネットとの関わり方について一緒に考え、改善をしていきましょう。子どもたちの未来のために。

設問17～19について…**コミュニケーション** 「つながる」

～人や社会と積極的に関わり、ふるさとを愛する子

- 6年生たちが作成した二島を紹介するパンフレットが完成し、県庁の1階や新山口駅バスターミナル待合所などに置かせていただいています。子どもたちが、今ある二島のいろんな「素敵」を大切に考え、子どもたちなりにこうした形で自分たちのふるさとの魅力を発信する活動は、まさに社会参画だと思います。5年生たちが干潟の調査をもとにまとめたことが県自然保護課の活動とリンクする動きも始まりました。こうした学びが二島小学校の中で受け継がれていくと素敵ですね。
- 自分たちの地域の未来を考えることは、地域をしっかりと知るところからスタートするべきだと考えます。こうした中で、ないものねだりをするのではなく、長い歴史の中で地域の方々が大切に残されてきたものを子どもたちがしっかりと見つめ、大切に考え、そしてまた未来へと引き継いでいくことを今後も大事にしたいと思います。地域と学校が連携する大切な意味がここにあると思います。
- 今年度もあと少しとなりましたが、次年度に教職員メンバーが変わっても地域連携が円滑に継続できるための基盤づくりや資料づくりに継続して努めたいと思います。
- 表現力育成としては、今年度も子どもたちが素敵な絵を描きました。子どもたちの豊かな感性や素直で優しい心、そして丁寧に物事に取り組む姿勢の成果だと思います。全国教育美術展や県学校美術展でも素晴らしい成績を残しました。本校の特色としてつなげていきたい教育活動です。

設問20~26について…めざす学校像

- 次年度に向け、子ども一人ひとりを大切に見つめ、一人ひとりをしっかりと伸ばす教育のための指導のあり方を改めて考えたいと思います。そのためにも、児童理解のあり方や教職員内での情報共有や役割分担、専門機関との円滑な連携について、さらに工夫・改善していきたいと思います。
- 地震対応については先日KYTを実施し、子どもたちへの意識づけと、自分で自分の身を守るためのスキルの育成を図りました。今後も不審者対応や交通安全、そして、健康管理など、より幅広い危機対応に向け、関係機関との効果的な連携を図るとともに、教職員のスキルを高め、子どもたちの命を守るための教育を大事に継続したいと思います。
- 次年度は、新型コロナウイルスの状況を見ながら、学校運営協議会やPTA活動がさらに学校と密につながり、それぞれの活動が活性化されるような取組を考えたいと思います。
- 今後も情報発信にも力を入れていきます。ホームページも引き続き多くの方々に閲覧していただいています。こうして情報が共有できることはとても幸せです。
- 今年度の二島小学校は、教職員の協働意識が高く、「チーム二島」の雰囲気がかかりと醸成されています。こうした学校のよい空気をぜひ次年度につなげ、児童をよりよく育てることにつなげたいと思います。

多くの貴重なご意見もいただきました。本当にありがとうございます。

「学校の様々な教育活動のおかげで子どもに自信がつき、いろいろなことに挑戦するようになりました」

「先生方が一人ひとりを大切に細やかな指導をされていることが伝わります」

「子どもたちが一生懸命に頑張る姿や自分の意見をはっきりと発表する姿に感動しました」

「少人数の利点を生かしてできる限りの地域活動をされていてありがたいです」

「これからも小規模校ならではの良さを生かし、二島の魅力を引き出してください」

「二島小の良いところは、家族のように他学年ともかかわり、優しい心が育つことです」

「子どもたちが地域に望むことがあれば、話し合う機会をもちたいと思います」

ありがとうございます。

教職員間で共有し、これからの学校づくりにしっかりと生かしていきたいと思います。

「いっしょに頑張っていきましょう」

「感謝の気持ちでいっぱいです」

「子どもを二島小に通わせてよかったと思います」

本当にありがたい言葉です。涙が出ます。励みになります。

